



移りゆく季節を楽しみましょう

北国では雪が舞い始め、京都でも木々が色づき始める季節となりました。11月は祝日が2回あります。休みだー!と喜びながら、祝日の意味や背景などを調べてみるのもよいかもしれません。その祝日にはどのような意味があるのかを知れば、今までとは少し違った祝日をすごせることでしょう。

季節の変わり目ですので、体調のすぐれない日があれば、無理をせずゆっくりとした気持ちで読書をしてみてください。



読書にまつわる世界のことばたち

読書の秋です。今回は読書にまつわる世界のことばを紹介합니다。古代より、本とともに歩んできた人々が作った読書にまつわることばたち。昔からいろいろな国々で読書が親しまれてきたことがうかがえます。みなさんも、その時代、その国の人たちが本を夢中で読んでいた姿を想像してみてくださいはいかがでしょうか。

ドッグ・イヤー

Dog-ear
(英語)



本のページの隅を折り曲げて目印をつけること。折り曲げたところが犬の耳のような形になることから。Dog-ear は犬の耳の意味。

注意!! 本は折らないでね。

ラ・ド・ビブリオテーク

Rat de bibliothèque
(フランス語)



本がとても好きで読書ばかりしている人のこと。ラ・ド・ビブリオテークは、直訳すると「図書館のネズミ」。日本では「本の虫」という。

つんどく積読

(日本語)



本を買ったけれど、読まずに何冊も積み上げられている状態のこと。「積んでおく」と「読書」を合わせたことば。

参考:「本にまつわる世界のことば」 創元社

図書委員会による

ハロウィンイベントの抽選会について

11/4(火)の昼休みに、図書室で抽選会をします。ハロウィンのスタンプラリーをして抽選券をもらった人は、裏の番号を確認しよう。
1等～3等が当たった人は、カウンターまでハロウィンもう一冊券をもらいにきてください。(抽選が終われば、抽選券はしおりとして使えます。)

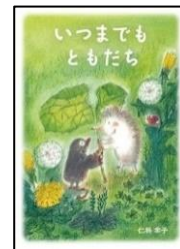


福祉図書がはいりました!

赤い羽根共同募金の福祉図書購入助成金により本を購入させていただきました。「特集コーナー」に並べていますので、いつも以上に福祉について関心を高めてみましょう。



じゃがいもへんなの
ぶんきょうしゃ 文教社



いつまでもともだち
かいせいしゃ 偕成社



まさきの虎
どうしんしゃ 童心社



手で見るぼくの世界は
しゅつぽん くもん出版



かげふみ
みつむらとしよしゅっぱん 光村図書出版



北緯44度 浩太の夏
ほくい どこうた なつ
らは戦争を知らなかった
いわさきしよてん 岩崎書店



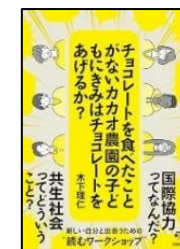
しょうがくせいしや
小学生記者が
ナガサキを記事にする
きじ
くもん出版



こども世界情勢
KADOKAWA



立ち直る力を育てる本
(「レジリエンス」がわかる)
なつめ社



チョコレートを食べたことかな
いしかかお農園の子どもにきみ
はチョコレートをあげるか?
じゅんぱうしゃ 旬報社



キャリア教育支援ガイドお仕事ナビ 28~31
りろんしゃ 理論社